

栃木県那須塩原市立厚崎中学校 講演会資料

夢・目標・チャレンジ

—立志式を迎えるにあたり、自分から進んで・主体的に、将来を考えよう—



2017年12月4日(月)

13:55~15:45

那須塩原市立厚崎中学校

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 好きなことばはありますか。

A : あります、たくさんあります。

(1) <小学校時代>

①「小学校 4 年生は、新聞を毎日読む」

・足利市立山辺小学校 4 年生担任、岡典子先生

②「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない（ユネスコ憲章）」

・足利ユネスコ学校

(2) <中学校時代>

①「練習で泣いて、試合で笑え」

・足利市立山辺中学校柔道部監督、椎名弘先生

②「ブルドッグ魂」（食いついたら離すな）

・足利市立山辺中学校クラス担任、岡田忠治先生

③「学問に王道なし」（There is no royal road to learning.）

・ローマの幾何学者、ユークリッド先生



(3) <高校時代>

「一所懸命」

（一つの所で、命を懸けるくらい熱心に、ものごとに取り組む）

・栃木県立足利高校マラソン大会のあいことば

(4) <大学時代>

「スポーツの 3 つの宝とは」

①「練習は不可能を可能にする」

②「フェアプレイ」

③「よき友」

・慶應義塾大学塾長、小泉信三先生



(5) <社会に出てから、パート 1 >

①「初心、忘れるべからず」

②「離見の見（りけんのけん）」（舞台上で踊っている自分を、離れた観客席から見る）

・世阿弥（ぜあみ）

③「会った人は、皆、友達」

・京都・一燈園、石川洋先生

④「目には遠いが、心は近い」

・インドのことわざ

(6) <社会に出てから、パート2>

① 「If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢をみることができれば、あなたはそれを実現することができる)

・ 人類を月に送り込んだ、アメリカ・ヒューストンの宇宙技術者たちのあいことば

② 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」

・ ドラッカー先生

③ 「一生勉強、一生青春」

・ 書家、相田みつを先生



(7) <社会に出てから、パート3>

① 「自己責任」、「自助努力」

② 「あきらめないで」

・ 90歳から詩の勉強を始め、98歳で最初の詩集を出した、宇都宮市の詩人、柴田トヨさん。100歳で、2冊目の詩集。

③ 「自分の未来は、自分で切り開く」

Q2 : これからの社会で求められる「学力」、「能力」とは何ですか。

A : (1) これからの社会とは、

① 「知識が基盤になった社会」

② 「グローバルな社会」

③ 「課題が山積した(山のようになり重なった)社会」です。



(2) そのような社会で求められる「学力」、「能力」とは、

① 「主体的に学ぶ力」、つまり、「自分から進んで学ぶ力」

② 「学び方を学ぶ力」

③ 「課題を発見する力」「課題を解決する力」

(3) ① 中学校、高校の学習内容はすべて、上級学校だけではなく、社会に出て役に立つものばかりです。役に立たない内容は、一つもありません。

② ですから、学校の教科書や教材、ノートは、絶対に処分しないこと。上級学校で、また、社会に出てからも、一生かけて繰り返し学び直しをしましょう。

③ 学校での教育活動もすべて、「よく生きる」うえで、社会に出てからも、一生役に立ちます。一つ一つの活動を、大切に、大切に、取り組んでください。



Q 3 : 将来のことを考える時に大切なことは何ですか。

A : (1)①「自分の将来は、自分から進んで考える」、「自分の将来は、主体的に考える」ことです。

②そのためには、現在の世の中がどうなっているのか、これからの世の中がどうなるのかを、自分の力で知り、考えなければなりません。

(2)①そこで役に立つのが「新聞」です。「新聞」を毎日一面からなめるように読み、地域や日本、世界の動きを知りましょう。

②新聞を読むと、「自分で考える力」「批判的思考能力」が身に着きます。

(3)①興味のある記事は、切り抜き、「スクラップブック」を作りましょう。

②医療や福祉、科学や技術、AI(人工頭脳)やIoT(もののインターネット)の進歩は、激しいものがあります。外国との交流も盛んです。新聞やTV、ラジオ、インターネット等での情報収集は欠かせません。



Q 4 : どのような生き方をしたらよいかを考えるには、どうしたらよいのですか。

A : (1)①腰をじっくりと落ち着け、「読書」をすることをおすすめします。

②「読書」によって、「思慮深さ」を身に着けましょう。

(2)①学校の各教科の教科書で紹介されている、何十年、何百年も読み継がれてきた「古典」と呼ばれる本をじっくりと読みましょう。

②作者との「時空を超えた対話」をし、

③何のために生きるのか、どのような生き方をしたらよいのかを、自分の力で考えること。



(3)様々な分野で活躍した人の「伝記」を読むことも、おすすめです。スマホに興味のある方は、アップルの創業者、スティーブ・ジョブズの伝記がおすすめです。

Q 5 : 人生の目標は、どのように考えたらよいとお考えですか。

A : (1)世の中の動きを新聞などで知り、世の中の大きな動きの中で、自分はどのような分野で、何がしたいのかを考えるのが第一。

(2)様々な生き方、人生に対する様々な考え方を、腰をじっくりと落ち着いた読書で知り、作者との「時空を超えた対話」でどのような生き方をしたらよいかを、中学校、高校時代に、また、18歳から35歳ぐらいまでに、じっくりと時間をかけて考える。

(3)35歳までは、勉強です。学校や、社会に出てからも学び続け、また、人生の目標を自分の力で考え続けるのが、35歳までです。

Q 6 : エッ、学校を卒業した後も、35歳まで勉強し続けるのですか。

A : (1) 社会は急激に変化し続けていますので、35歳過ぎても学び続けられない限り、仕事や社会的な活動をするには、困難、難しいといえます。

(2) 35歳までは準備期間、80歳からおそらく90歳ぐらいまでが本格的な活動期間、105歳ぐらいまでがゆっくりとした人生の充実期間と考えます。

(3) 人生は長いですから、どうか、今やらなければならないことを、自分の力でじっくりとお考えください。

Q 7 : 最後にひとこと、学校時代に身に付けておいたほうがよいことはありますか。

A : (1) 「5S(ごえす)」です。

- ①「整理」(seiri) 要らないものを捨てる
- ②「清掃」(seisou) きれいに掃除をする
- ③「整頓」(seiton) ものと同じところに置く
- ④「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する
- ⑤「躰」(shitsuke) 自分から進んで行く



- (2) ①自分から進んで、「元気なあいさつ」をすること
- ②大切なことは、「ノート」「メモ」を取り続けること
- ・仕事は「メモ」で身に着ける

(3) 「健康第一」、「病気に打ち勝つ、立ち向かうのも能力」

<ご参考までに> 「創業」の基本精神とは

- (1) 失敗を恐れない (チャレンジ、挑戦)
- (2) FAST (スピードと正確さ)
- (3) FORWARD LOOKING (フォワード ルッキング)
- ・前向き、先を読み続けること

ご清聴ありがとうございました。

感謝いたします。

2017年11月29日(水)7時32分